



中古住宅が持つ  
可能性

村上洋子  
村上登男一級建築士事務所  
一級建築士・住宅医  
www.nom-archi.jp

中古住宅が持つ可能性(改装例)



住宅医(1級建築士)村上洋子さんの講演



講演「空き家対策、住宅医の提案」村上洋子さん



真鍋幹事長がお休みで代行

つよつよさんのお楽しみ日記⑤

「二十一世紀の愛媛を語る会」の巻

私はいろいろな方とお会いし、お話を聞かせて頂くのが好きで数多くの会に参加させて頂いております。(言う迄もなく一番の目的は飲み会です) 数ある会の中で一番面白い名前の会が「二十一世紀の愛媛を語る会」です。平成十三年私の親友であった、天龍ファイアペックの故、村上勝彦さんに誘われて入会させて頂きました。毎回森高県議が表から裏から政界のいろいろな話題を評論してくれます。

昼食をはさんで会員本人又はゲストの講話が三十分程度あります。演題はその時々話題であったり、自分の歩んだ人生、仕事等々、決まりはありません。それだけにいろいろなお話を聞くことが出来ます。

今回は住宅医の村上洋子さんのお話でした。住宅医は私も初めて耳にした職業ですが何となく……。住宅の強度診断や補強そして、いかに再活用するか等々の仕事ではないかと思っていました。(まさにその通りでした)

私の住んでいる砥部町も昭和四十年代後半から次々と団地が造成され多くの人が移住してこられました。その時、三十代であった方も今では七十代となり団地の高齢化問題がおきると同時に当時は宅地面積を出来るだけ抑えてでも一戸建て住宅を求めた時代ですので二世帯が住むには土地が狭く住宅も老朽化し近年は空家が出るようになって来ました。土地や建物の再活用問題も当然起こっています。

さて、会というものはお世話人の熱意でいい会になったり存続があります。当会にも津田博基さんという名世話人が会場の手配、出欠確認、毎回の写真撮影等々八面六臂の大活躍です。

皆さんもいろいろな会に入っていると思いますがお世話人に心から感謝とご協力を！



中村剛志